



国際理解講演会 ～LGBT について～



6月14日(木)の総合的な学習の時間(国際部裁量)において、全学年を対象に国際理解講演会が行われました。

今回は特定非営利活動法人 ReBit のお2人をお招きし「LGBT ってなんだろう～互いの違いを受け入れられる社会を目指して～」をテーマに講演していただきました。

LGBT(セクシャルマイノリティ)についてのお話を伺い、その活動に対する理解を深めると共に自分自身の在り方や多様な性について考えるととても貴重な時間となりました。

また、保護者の方々も講演会に来てくださいました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

特定非営利活動法人 ReBit とは？

ReBit は大学生や20代の若者約400名で活動しているNPO 法人です。「少しずつ(Bit)を、何度でも(Re)」を繰り返し、LGBTを含めたすべての子どもたちがありのまま大人になれる社会を目指し、活動しています。

LGBT とは？

- ① L レズビアン(女性同性愛者)
- ② G ゲイ(男性同性愛者)
- ③ B バイセクシュアル(両性愛者)
- ④ T トランスジェンダー(身体と心の性が異なる人)

4つの頭文字からなる。

セクシャルマイノリティ(性的少数者)を指す言葉としても使われます。

この他にも多様なセクシュアリティが存在します。

生徒の感想

- ・性の問題というものは私たちにとって大切な問題であると同時に、マイノリティといわれる人々の気持ちや立場を思い考え生きていくということが、これから生きる私たちの大きな義務であり責任であると痛感しました。自分たちの価値観が絶対であると思わずに様々な価値観を共有できる幅の広い人間になっていきたいです。
- ・今は偏見や進まない制度の問題などもあり、LGBTの人たちは生活しづらいと思いました。講義を聞いてからは更に全ての人たちに平等であってほしいと思いました。
- ・講義を聞いてセクシュアリティは人の数だけあるということがわかりました。どんな違いも受け入れること、助け合うことが大事だと感じました。色々な性があるので一人ひとりに合った偏見のない社会になるといいなと思いました。
- ・私は元々LGBT について関心がありました。その中でも同性愛に関心を持っていて個人的な考え方ですが一般的な考えを超えた恋愛のようで、とても素晴らしいと思っています。
- ・自認する性と体の性に違和感がある人には、学校や社会で生活する上でトイレや制服、宿泊行事などで困ってしまうということを知ることができました。社会の中で決まっていることだけでなく、広い視野で周りを見ることが大切だと思いました。

この講演会は本校が指定されている「オリンピック・パラリンピック教育推進校」
としての活動の一環として行われたものです